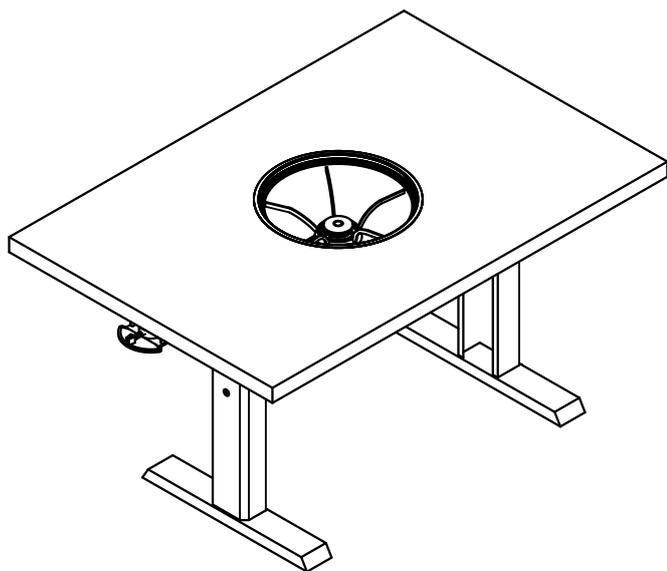


業務用

ガスクッキングテーブル 鍋用コンロ『HANA』

製品番号 CTK-2001

このたびは、業務用ガスクッキングテーブル鍋用コンロ『HANA』を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに保管しておいてください。



目次

特に注意していただきたいこと	1～3
各部の名称と仕様	4～5
設置について	5～8
ご使用方法	8～9
日常の点検・お手入れ	10
故障・異常の見分け方と処置方法	11
長期間使用しない場合	11
廃棄するときは	11
アフターサービスについて	12

家庭用には使用しないでください

《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



触手禁止



火気禁止



一般的な注意



高温注意



必ず行う



換気必要

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

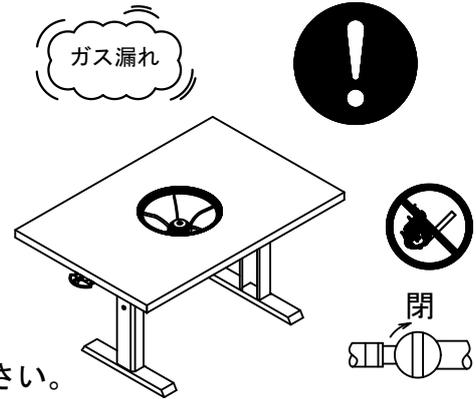
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じてください。
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出してください。
- ③ お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板(機器燃焼部に貼付)に表示しているガス(ガスグループ)を使用する。移設した時も、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火で火傷したりすることがあります。また、故障の原因にもなります。

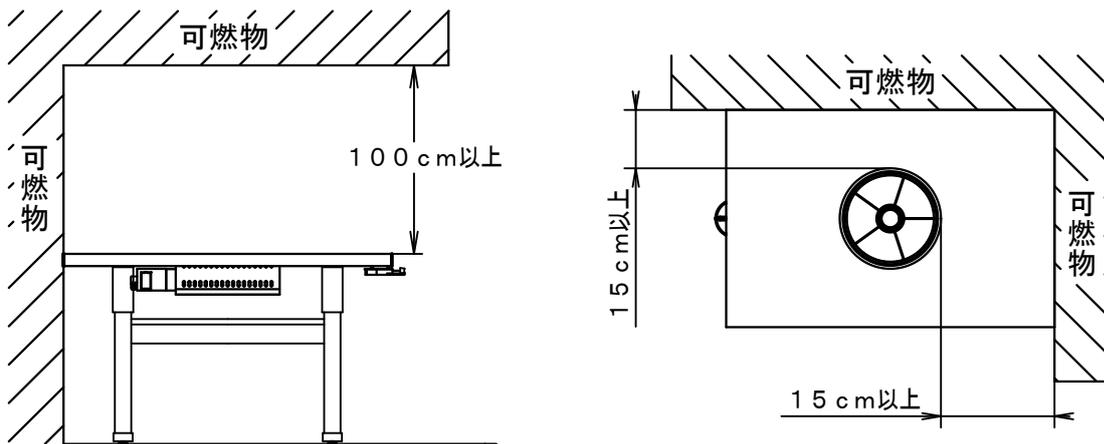
わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。

例：都市ガス12A, 13Aの場合

品番：CTK-2001	
形式名：CTK-2001	
都市ガス12A, 13A用	
ガス消費量 12A	3.50kW
13A	3.72kW
00.00-000000	
山田金属工業株式会社	
業務用	使用可能な最大寸法
	直径 28 cm

■ 火災予防

設置や移動の際、(家具や壁・棚など)可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。

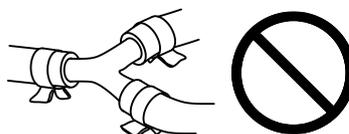


■ 使用上の注意

ゴム管は、ガス用ゴム管(検査合格又はJISマークの入っているもの)を使用してください。ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込みゴム管止で確実に止めてください。

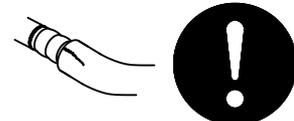


ゴム管の継ぎたし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

ゴム管は、ときどき点検して取り替える。



古くなると、ひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

 警告

■ 火災予防

火をつけたまま離れない。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

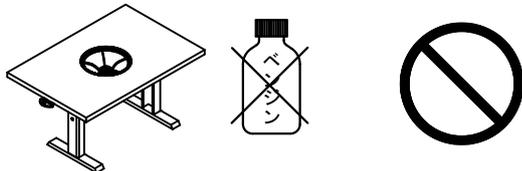
機器の上やまわりには、可燃性(カーテン、新聞紙、紙袋など)や引火性(エアゾール缶など)のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
機器の周囲にスプレー缶を置かない。



熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

■ 火災予防

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない。



火災の原因となります。

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と、つまみが「OFF」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発のおそれがあります。



■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また、炎口が詰まったり消耗したバーナは、未着火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにつまみを「OFF」にし、ガス栓を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法(11ページ)に従ってください。



■ 使用上の注意

機器を覆ってしまうような大きな鉄板、陶板類や補助具などを使用しないでください。

不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。



■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 使用上の注意

揚げ物調理には使用しない。

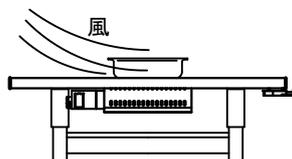


火災注意

調理油が過熱して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

扇風機や冷暖房機器の風を機器に当てない。



機器損傷や作動不良の原因になります。

■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。

■ 使用上の注意

調理専用器具ですので調理以外の用途には使用しない。衣類の乾燥等にも使用しない。



過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

使用中や使用直後は、高温部（ゴトク・汁受け・バーナ等）には触れない。



機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合はやけどに注意してください。

■ 使用上の注意

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う。



手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをする恐れがあります。

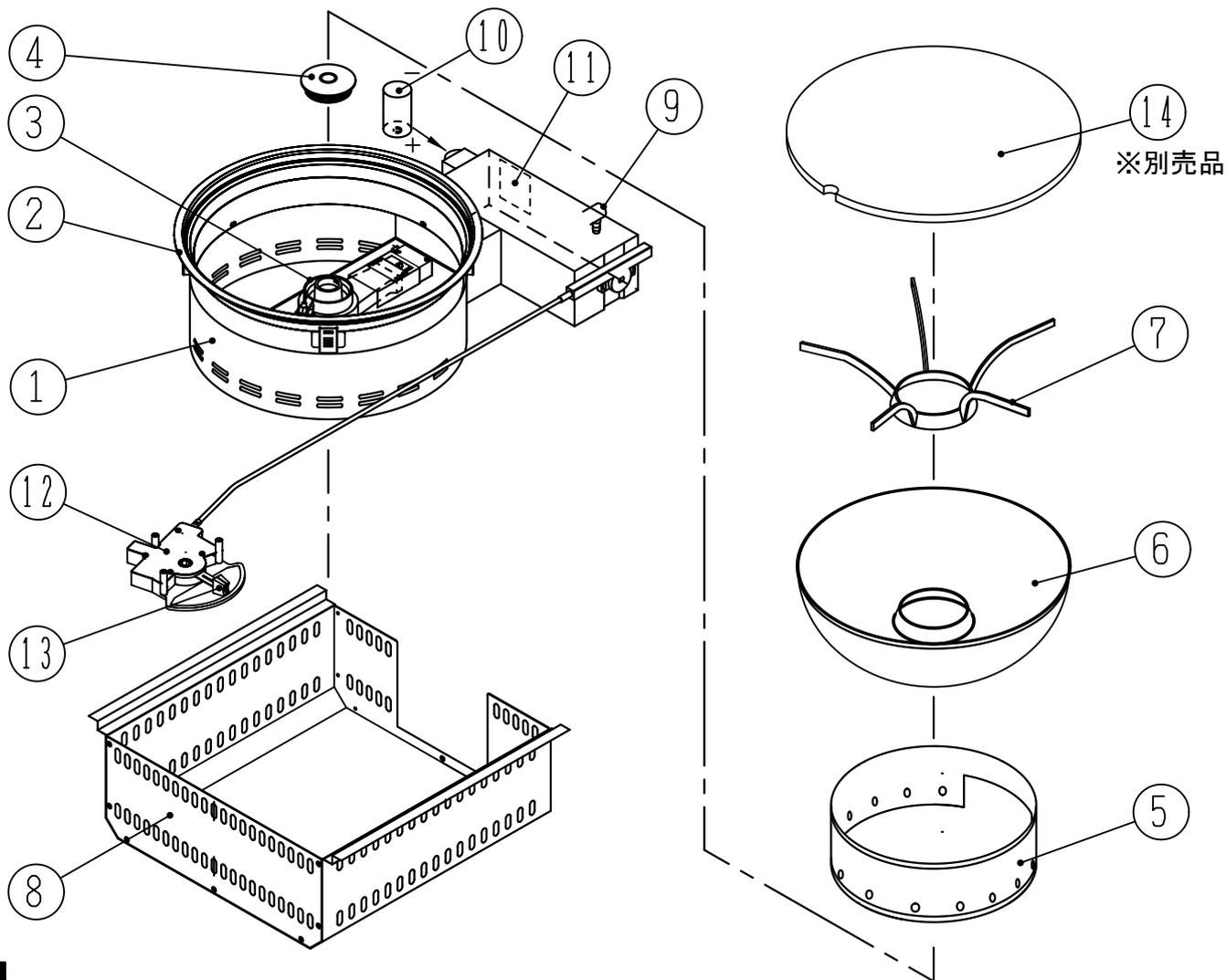
■ 使用上の注意

- ・ 補助具はこの調理器具用の付属品以外は使用しないでください。
- ・ なべをお使いになるときは28cm以下のものをご使用ください。
- ・ この製品は業務用です。家庭用には使用しないでください。
- ・ 別売品の木製フタをつけた状態で点火しないでください。

お願い

- ・ 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- ・ 使用後は消火と器具栓つまみが「OFF」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスが漏れ、爆発のおそれがあります。

■ 各部の名称と仕様



No.	部品名称	はたらかき
①	本 体	バーナ・汁受け・ゴトクを受けている部品
②	飾り 枠 A s s y	天板の断面を保護する部品
③	バ ー ナ	ガスと空気を混合する部品
④	バーナキャップ	バーナの上に装着して、安定した炎を出す部品
⑤	遮 熱 板	バーナからの熱を遮断する部品
⑥	汁 受 け	吹きこぼれた汁などを受ける部分
⑦	ゴ ト ク	調理する際に鍋を受ける部分
⑧	保 護 カ バ ー	本体からの熱を防ぐ部分
⑨	ホ ー ス エ ンド	ガス取入口
⑩	単 1 形 乾 電 池	バーナに点火する際の電源
⑪	形 式 銘 板	製品番号、ガス種、消費量などを表示している部品
⑫	ガススマートコントローラ	バーナへの点火及び火力調節をする操作ユニット
⑬	ツ マ ミ	バーナの火力調節をする部品
⑭	木 製 フ タ	コンロを使用しないときにするフタ (別売品)

■ 消耗品

バーナ、バーナキャップ、ゴトク、単1形乾電池、木製フタ (別売品)

■ 各部の名称と仕様（つづき）

■仕様表

記載事項	記載内容	
製品名	HANA	
形式名	CTK-2001	
品番	CTK-2001	
タイプ	飾り枠タイプ	
オプションフタ	木製フタ(別売品)	
1時間あたりのガス消費量	都市ガス	
	12A	13A
	3.50kW	3.72kW
点火方式	連続スパーク点火方式(単1形乾電池)	
空気調節器	固定式	
寸法	幅545.9mm×奥行432mm×高さ174.5mm	
ガス接続口	9.5mmゴム管用ホースエンド	
安全装置	立消安全装置(サーモカップル方式)	
質量	約9.0kg	
使用可能な最大なベ径	28cm	

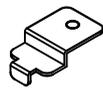
※予告なく仕様の一部を変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

■ 設置について

■設置前の準備

・器具をダンボールから取り出して包装部品全てを取り除き、付属品を確認してください。

● 付属品

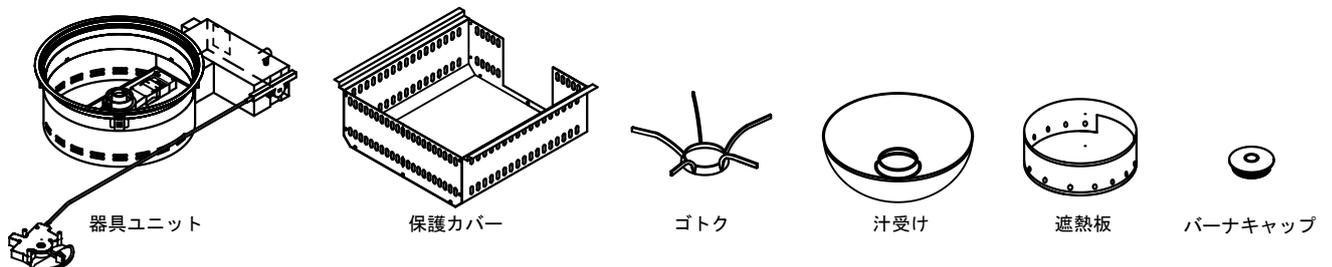
①取扱説明書(1冊) 	②+木ネジ3.8×4.5(3個) 	③+トラスネジ4×16(13個) 	④ワイヤーサドル(A)(3個) 
⑤単1形乾電池(1個) 	⑥断熱材(1個) 	⑦ベース取付金具(4個) 	

・組立前の準備(器具と工具類)をしてください。

- ・器具一式
- ・天板(テーブル)
- ・脚
- ・電動ドライバー
- ・+ドライバー(短い物)
- ・タッカー
- ・クイックバイス
- ・メジャー(コンベックス)

・器具ユニットを準備します。

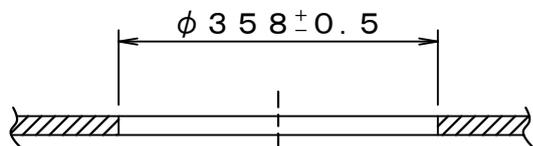
器具ユニットを箱から取り出してゴトク、汁受け、遮熱板、バーナキャップを取り外します。



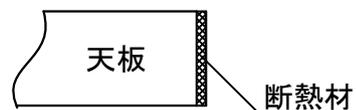
■ 設置について

■ 機器の取付方法

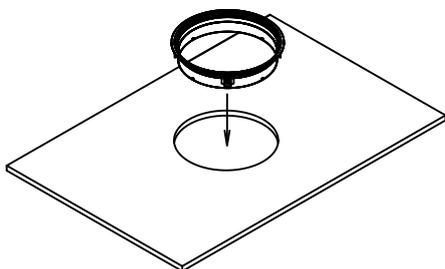
- ①天板（厚み20・30・40mm）に下記寸法の穴をあけてください。



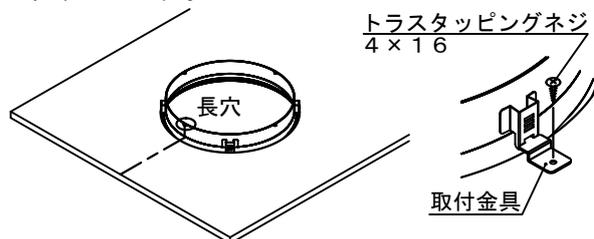
- ②付属の断熱材をテーブルの穴の断面にタッカーで取り付けてください。タッカーの針の止めピッチは5cm程度を目安にしてください。



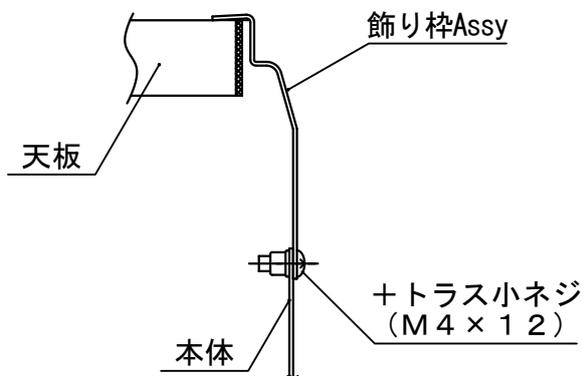
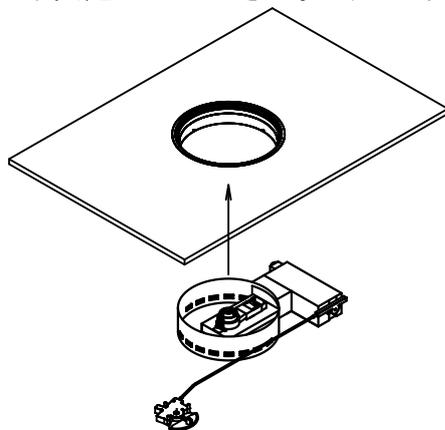
- ③飾り枠Assyが本体と内側からネジ4本で固定されているので外して天板表側より穴に入れてください。（外したネジ4本は再度使用しますので保管してください。）



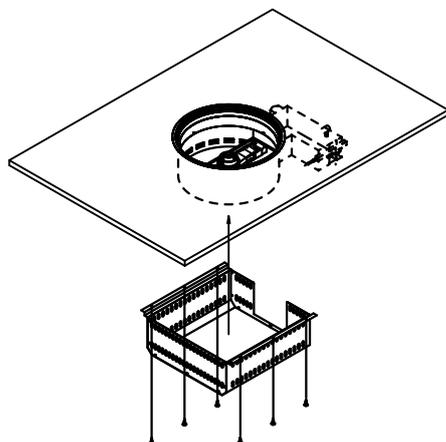
- ④天板を裏返して飾り枠Assyの長穴の位置が天板の中心にくるようにメジャーで測って位置合わせし、付属の取付金具を4カ所に差し込んでトラスタッピングネジ4×16で固定します。



- ⑤本体を天板裏側より飾り枠Assyにはめ込み（2人作業）、もともとついてきたネジ4本で器具内側より固定してください。（+トラス小ネジM4×12 4本）



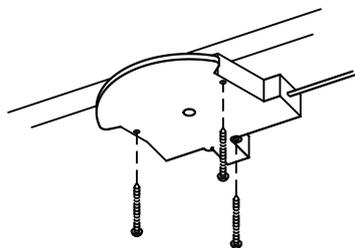
- ⑥保護カバーを天板裏側より付属の+トラスタッピングネジ4×16で天板に固定してください。



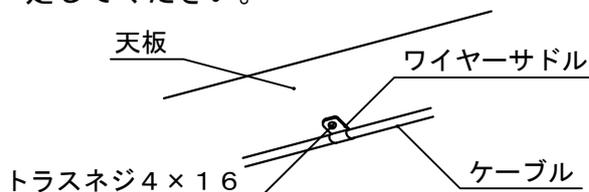
■ 設置について

■ 機器の取付方法

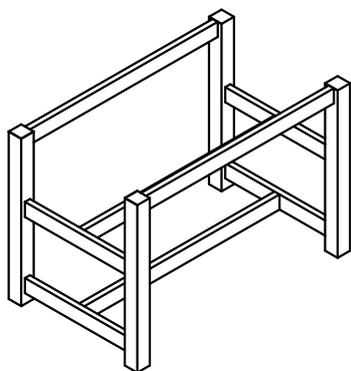
- ⑦操作部を付属の木ネジ(3.8×4.5)3本で天板裏面より固定してください。
※クイックバイスでは手で位置決めして固定してください。



- ⑧付属のワイヤーサドルとトラスネジ4×16でケーブルを天板に2～3ヶ所固定します。
※ケーブルは出来るだけ大きく曲げてください。(内側の半径10cm以上)
※ケーブルは機器本体に触れないように固定してください。



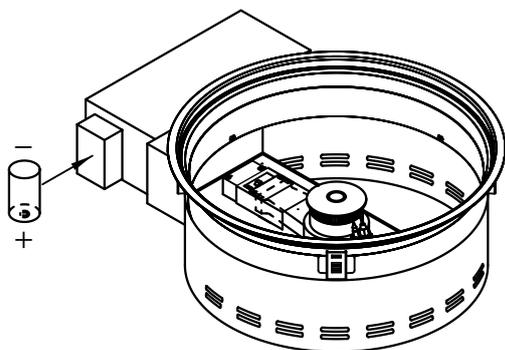
- ⑨脚に天板を取り付けします。取り付け方法は脚の取り付け説明書に従ってください。



脚が器具ユニットや操作部に触れないように注意してください。
脚の取り付け位置に無理があると着火操作が出来ない場合があります。
脚の構造によって操作部を後に固定する場合があります。

※脚のイラストは参考です。

- ⑩器具に付属の単1形乾電池を入れてください。



※乾電池の向きに注意してください。

操作部のツマミをスライドさせて着火操作します。点火音がして手を放すと元通りツマミが戻ることを確認します。操作が固い・ツマミが戻らない等の現象が出たら、ケーブル端末の固定とワイヤサドル位置に無理がないように調整してください。また器具ユニットが脚に触れて無理をしていないか確認してください。

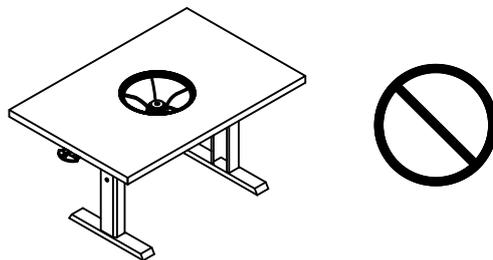
着火操作に異常がなければ組立は完了です

取り外した部品を元通りにセッティングしてください。後は設置・試運転になります。この取扱説明書に従って作業を行ってください。

■ 設置について

■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けてください。火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避けください。照明器具のかさ等が変形することがあります。
- ・ 強い風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたりする場合があります。



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

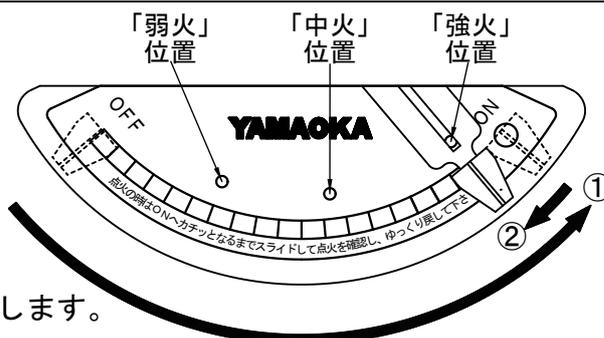
- ・ 機器本体に貼り付けている銘板に表示しているガスの種類と、使用するガスが一致していることを確認してください。
- ・ ガス栓と機器のガス接続口をφ9.5mmガス用ゴム管で接続してください。
- ・ ガス用ゴム管はホースエンドの赤い線まで差し込み、ゴム管止めで固定し、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く、また機器の下を通したり、機器に触れたりしないでください。
- ・ フタをしている場合はフタを取り外してください。
- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認してください。
- ・ 機器周辺に可燃物がないことを確認してください。
- ・ 操作つまみが「OFF」の位置であることの確認。

■ 操作の方法

△ 注意 ガスの点火・消火は必ず、炎を目で見確認してください。

【点火の方法】

- ① 点火は、つまみを「OFF」から「ON」の方向へ「カチッ」となるまで回してください。ゆっくりいっぱいまで回すと「チッチッチ」という音とともに点火を開始します。バーナに着火したことを目で見確認してから5～10秒後に手を離して、もう一度バーナに着火していることを、再確認してください。
- ② 手を離すと「強火」の位置で止まり、強火燃焼します。



【ご注意】

- はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合、2・3回点火操作を繰り返し行い、空気を抜き、「OFF」の位置に戻した後、しばらくしてから、再度点火操作を行ってください。（長時間使用していなかったり、朝一番などはじめて点火するときも点火しにくいことがあります。）
- 点火の際や使用中に《ゴーゴー》音を立てて燃える現象が起きたときは一旦つまみを「OFF」にして、しばらくしてから再点火してください。

■ ご使用方法（つづき）

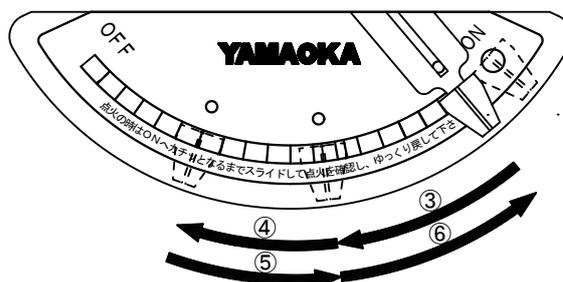
■ 操作の方法（つづき）

【火力調節の方法】

火力調節は3段階に調節できます。

一旦着火しますと、

- ③ 「強火」の位置から「中火」の位置に
 - ④ 「中火」の位置から「弱火」の位置に
 - ⑤ 「弱火」の位置から「中火」の位置に
 - ⑥ 「中火」の位置から「強火」の位置に
- 自由に調節してください。

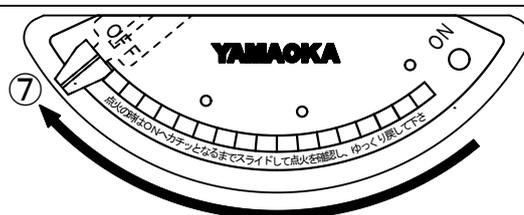


【ご注意】

- ツマミはゆっくり動かしてください。速く動かすと火が消える場合があります。
- ○印の位置の節度以外でのご使用は行わないでください。特に「弱火」の節度以下にすると消火しますのでご注意ください。
- 「強火」から「中火」「弱火」と、「弱火」から「中火」、「中火」から「弱火」にした時などの火力はワイヤー及びコックの遊び代があるため変わることがあります。一旦「強火」に戻してから「中火」「弱火」の火力変化は少ないです。

【消火の方法】

- ⑦ 消火は、ツマミを「OFF」の位置に動かし、「カチッ」と音がするまで戻し、消火したことをバーナを目で見て確認してください。



■ 安全装置について

- ・ この機器には立消え安全装置が付いています。炎検出部（サーモカップル）がひどく汚れている場合、着火しにくい、使用中に火が消える等の症状がでることがあります。その場合は10ページお手入れの項を参照して清掃してください。



高温注意 清掃は必ず機器が冷えた状態で行ってください。

- ・ バーナをセットする場合、点火プラグ、炎検出部（サーモカップル）に当たないように気を付けてください。点火プラグ、炎検出部（サーモカップル）の取り付け位置が変化して着火しにくい、着火しないという症状がでる場合があります。

■ 使用する鍋について

- ・ 直径28cmを超える鍋は使用しないでください。
鍋からの輻射熱などで機器及びテーブルが加熱されやけどや故障の原因になります。

■ 停電時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電した場合、換気扇などが動かなくなり、換気ができなくなる為、窓を開けるなどして換気に注意してください。
窓が無く換気できない場合は、器具栓つまみを「OFF」の位置にし、ガス栓を閉じておいてください。

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行ってください。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

■ 点 検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認してください。

■ お手入れ

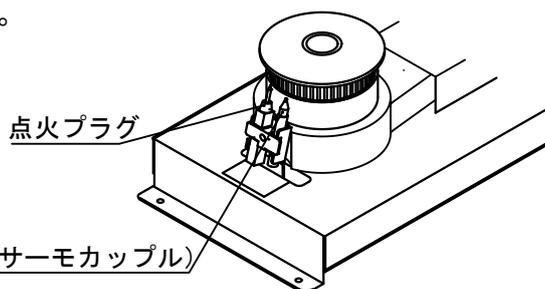
- ・ 本体は、手袋を着用して濡れぶきんでよくふいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませてふき取り、お手入れした後、乾いた布で十分水分をふき取ってください。
- ・ 汁受けは取りはずして水洗いし、乾いた布で水分をふき取ってください。
- ・ バーナキャップはスリット部（炎口）をブラシや針金などで掃除してください。
- ・ バーナはブラシなどで内部を掃除してください。
- ・ 機器内部には水をかけないでください。故障の原因になります。

■ 点火プラグ・サーモカップルのお手入れ

お手入れ

点火プラグや炎検出部（サーモカップル）がひどく汚れて着火しにくい場合は、先端をブラシなどで掃除し、布等で丁寧にふき取ってください。

注意 点火プラグ、サーモカップルの取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。
点火不良や故障の原因になります。



■ バーナキャップのお手入れ

点検

油や炭化物が付着した状態で使用を続けると、異常燃焼を起こし火が消えたり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ

右図のように『針金』『ブラシ』などを使用してバーナキャップのスリット部（炎口）を掃除してください。
汚れが激しい場合は布に水と中性洗剤を少し付けて拭き取ってください。



■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象										処置方法
	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りがしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛びように燃える	異常な音をたてて燃える	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない	使用中に炎が消える	
ガスゴム管接続が不完全 ガスの接続が不完全	○										ガスゴム管の接続を確実にする ガスの接続を確実にする
ガス栓の開きが不十分		○	○					○	○	○	ガス栓を全開にする
ガス栓内の安全弁が作動している		○	○								ガス栓を閉じてからゆっくり全開にする
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○			○	○	バーナを正しく取り付ける
立消え安全装置		○	○								○ P 9 に記載の安全装置の項参照
LP ガスがなくなりかけている		○	○	○				○	○	○	新しいボンベと交換する
ツマミの開き不足		○	○					○		○	ツマミを一度「OFF」に戻してから再び点火操作を行う
バーナキャップの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナキャップの炎口を清掃する
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
バーナが劣化している		○	○	○	○	○	○	○	○	○	販売店に連絡し修理してください
電池が切れている		○									新しい電池と交換する

■ 長期間使用しない場合

■ 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガス栓を閉じて保管してください。

■ 廃棄するときは

■ 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に11ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 移設される場合

- ・ 移設によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ず買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡ください。
また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障

※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（4ページを参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ このガスッキングテーブル鍋用コンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ ガスッキングテーブル鍋用コンロをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、買い求めになった販売店か当社へ連絡してください。

■ お客様の個人情報の取り扱いについて

- ・ 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ・ 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <https://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。